

令和２年度 第２回 亀岡市防災会議（書面会議）

1 議 事

（１）亀岡市地域防災計画の修正について

．．．．資料 1

2 情報共有・報告事項

（１）令和２年度の災害状況について

（２）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえた避難所開設訓練の 実施結果について

（３）災害協定の締結状況について

．．．．資料 2

（４）令和３年度亀岡市防災フェスタ 2021（仮称）について

．．．．資料 3

（５）（仮称）セーフコミュニティかめおか防災対策委員会の設置について

．．．．資料 4

亀岡市防災会議委員名簿

会長：亀岡市長 桂川 孝裕

選出区分	現 職	委 員	任 期
学識経験者（第7号委員）	亀岡市議会議長	福 井 英 昭	令和4年5月31日
	亀岡市議会総務文教常任委員長	木 村 勲	令和4年5月31日
	亀岡市議会環境厚生常任委員長	平 本 英 久	令和4年5月31日
	亀岡市議会産業建設常任委員長	赤 坂 マ リ ア	令和4年5月31日
	亀岡市自治会連合会長	塚 本 政 雄	令和4年5月31日
	亀岡市社会福祉協議会理事	松 井 や す 子	令和4年5月31日
	元亀岡市消防団つつじ分団長	藤 本 妙 子	令和3年2月26日
指定地方行政機関の職員、 京都府知事の部内の職員及 び京都府警察の警察官 （第1号委員）	京都府南丹広域振興局 地域連携・振興部長	廣 瀬 秀 樹	在職中
	京都府南丹保健所長	時 田 和 彦	在職中
	京都府南丹土木事務所長	片 岡 芳 幸	在職中
	京都府亀岡警察署長	横 田 政 幸	在職中
	近畿農政局地方参事官（京都府担当）	山 崎 達 夫	在職中
京都中部広域消防組本部 の職員（第5号委員）	京都中部広域消防組合 亀岡消防署長	菊 井 誠	在職中
消防団長（第4号委員）	亀岡市消防団長	田 井 浩 二	令和4年3月31日
指定公共機関の職員 （第6号委員）	西日本電信電話株式会社 京都支店設備部長	前 河 秀 秋	令和4年5月31日
	関西電力送配電株式会社 京都配電営業所長	福 田 一 芳	令和4年5月31日
	大阪ガス株式会社 京滋導管部長	越 田 哲 史	令和4年5月31日
	（一社）京都府L Pガス協会 亀岡支部長	川 勝 啓 史	令和4年5月31日
	西日本高速道路株式会社関西支社 京都高速道路事務所長	古 田 清	令和4年5月31日
	独立行政法人水資源機構 日吉ダム管理所長	新 井 誠 輔	令和3年5月24日
市長が特に必要と認める者 （8号委員）	陸上自衛隊福知山駐屯地第七普通科連隊 第三中隊長	阿 佐 知 幸	令和5年2月17日
副市長（第2号委員）	副市長	石 野 茂	在職中
病院事業管理者（第2号委員）	亀岡市病院事業管理者	玉 井 和 夫	在職中
教育長（第2号委員）	亀岡市教育長	神 先 宏 彰	在職中
市長部局等の職員 （第3号委員）	市長公室長	山 内 俊 房	在職中
	企画管理部長	浦 邦 彰	在職中
	生涯学習部長	田 中 秀 門	在職中
	総務部長兼危機管理監	石 田 尚	在職中
	環境市民部長	由 良 琢 夫	在職中
	健康福祉部長	河 原 正 浩	在職中
	こども未来部長	高 橋 依 子	在職中
	産業観光部長	吉 村 一 志	在職中
	まちづくり推進部長	並 河 悦 郎	在職中
	上下水道部長	阿 久 根 和 也	在職中
	市立病院管理部長	松 村 一 城	在職中
	教育部長	片 山 久 仁 彦	在職中
	会計管理室長	吉 田 恵	在職中

令和 2 年度第 2 回亀岡市防災会議

資 料

亀岡市地域防災計画の修正について (一般計画・災害予防計画編、資料・マニュアル編)

災害対策基本法第42第1項の規定に市町村地域防防災計画は毎年検討を加え必要に応じて修正しなければならないと規定されており、今年度は「一般計画・災害予防計画編」及び「資料・マニュアル編」の見直しを行います。

1 一般計画・災害予防計画編について

(1) 災害協定について

令和2年度に締結した災害協定について記載しました。

(詳細は別紙災害協定の締結状況についての資料のとおりです)

(2) 受援計画の充実について

大型化・激甚化する災害に対し、他府県に応援を要請することを想定した際の受援計画について、受援本部等についての記載を充実

2 資料・マニュアル編について

(1) 日吉ダムに係る連絡通知様式の変更について

日吉ダム洪水警戒態勢に係る連絡様式に改訂がありましたので更新しています。

(2) 土砂災害（特別）警戒区域等の指定について

土砂災害（特別）警戒区域が指定（解除）された箇所について整理を行っています。

区域の名称	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類
下矢田町 A (に 1049)	急傾斜地の崩壊
千歳町 7 (に 054)	土石流
千歳町 8 (に 053)	
西別院町 BJ (に 1017-4)	
西別院町 BK (に 2041-4)	急傾斜地の崩壊
西別院町 BL (に 2037-8)	
西別院町 BM (に 2035-5)	
西別院町 BN (に 2035-4)	
西別院町 BO (に 2033-6)	
西別院町 BP (に 2169-10)	
西別院町 BQ (に 2169-10)	
西別院町 BR (に 2042-3)	
畑野町 4 3 (新に 1006-3)	土石流
畑野町 (に 10)	地すべり

(3) 災害協定について

令和2年度に締結した災害協定について記載しました。

(詳細は別紙災害協定の締結状況についての資料のとおりです)

(4) 「避難所開設・運営マニュアル」について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から既存の「避難所移設・運営マニュアル」を見直しました。

令和 2 年度災害協定の締結状況について

本市では、「亀岡市地域防災計画」に基づき、災害時における社会の混乱を防止し、市民の救援活動及び災害復旧活動を円滑に実施することを目的に、様々な分野において災害時に関する応援協定を締結しており、今年度締結しました災害協定は以下のとおりです。

1 「緊急時における感染症防止対策に係るマスクの優先供給に関する協定」

協定相手：株式会社山口精機製作所

協定締結日：令和 2 年 7 月 9 日

協定内容：大規模感染症や自然災害等の危機事象発生時におけるマスクの優先供給

2 「災害に係る情報発信等に関する協定」

協定相手：ヤフー株式会社

協定締結日：令和 2 年 7 月 22 日

協定内容：市ホームページのキャッシュサイトの用意や防災アプリ「Yahoo!防災速報」で緊急情報発信できるようになるなど

3 「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」

協定相手：株式会社ゼンリン 関西支社

協定締結日：令和 2 年 12 月 3 日

協定内容：災害時における地図製品の貸与及び住宅地図インターネット配信サービスの利用権限付与

4 「災害時におけるクロレラの調達に関する協定」

協定相手：サン・クロレラジャパン株式会社

協定締結日：令和 2 年 12 月 17 日

協定内容：災害時におけるクロレラ製品の優先提供

※ クロレラとは淡水産の緑藻類の一種で、それを加工したクロレラ製品はタンパク質・ビタミン・鉄分等をバランスよく配合した健康食品です。

5 「災害時における物資の供給に関する協定書」

協定相手：コーナン商事株式会社

協定締結日：令和 3 年 1 月 19 日

協定内容：災害時における災害対応資機材の優先供給

※ 作業シート（ブルーシート）、ヘルメット、マスク、毛布等様々な物資が対象となっています。

令和 3 年度 亀岡市防災フェスタ 2021（仮称）について

1 目 的

災害発生時において全国的に課題となっている「住民避難」を主題とした防災講演会を開催し、避難行動タイムラインに基づく避難計画の策定や「避難スイッチ」の考え方、対策が急務である「避難所における感染症対策」について普及啓発を図るとともに、講演会に併せて市民参加型の避難訓練などを行うことで更なる防災意識の高揚を図る。

2 日 時

令和 3 年 9 月～10 月（現在調整中）

※ 東京オリンピック・パラリンピック及びサンガスタジアム試合日程により変更の場合あり

3 場 所

サンガスタジアム及び亀岡駅北側駅前広場周辺一帯（JR 亀岡駅 他）

4 主 催

亀岡市防災会議

5 参加機関（予定）

亀岡市自治会連合会、市内各自主防災会、合同会社ビバ&サンガ、株式会社サンロイヤル、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社京阪京都交通、亀岡国際交流協会、京都府警察、京都中部広域消防組合、亀岡市消防団、京都府、亀岡市 他

6 事業概要

〔第 1 部〕 亀岡市総合避難訓練

〔第 2 部〕 亀岡市防災講演会

〔関連事業〕 サンガスタジアム施設見学会（スタジアムの防災対策）

高層建物火災想定訓練（サンロイヤルホテル亀岡駅前）等

7 実施事業

●**第 1 部 亀岡市総合避難訓練**

大規模施設を臨時避難所として開設・運営する際の手順や配慮すべき事項について、各防災関係機関及び施設管理者が連携して災害対応等訓練を実施する。

また、現在猛威を振るう新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防に配慮した避難所開設訓練についても併せて実施する。

【主な訓練内容】

- 1 災害対応訓練
- 2 集団避難・集団救急訓練
- 3 臨時避難所開設・運営訓練

●第2部 亀岡市防災講演会

現在、全国的に課題となっている「住民避難」をテーマとして、様々な事例等を交え、その考え方や実践に向けた方法に関する啓発を行う。

特に、コロナ禍における避難については、第1部で実施した訓練の結果を交えて対策のポイントを整理し、理解の共有を図る。

●関連事業（亀岡駅北側駅北広場）

◆サンガスタジアム施設見学会（スタジアムの防災対策）

サンガスタジアムにおける防災対策（耐震構造や備蓄倉庫など）に関する施設見学及び日頃立ち入ることのできない施設内部の見学会

◆高層建物火災想定訓練 等

現在建設中の「サンロイヤルホテル亀岡駅前」等、会場周辺の事業者等に協力を要請し、火災想定訓練などの災害対応訓練を実施する。（検討中）

◆防災展示・体験コーナー

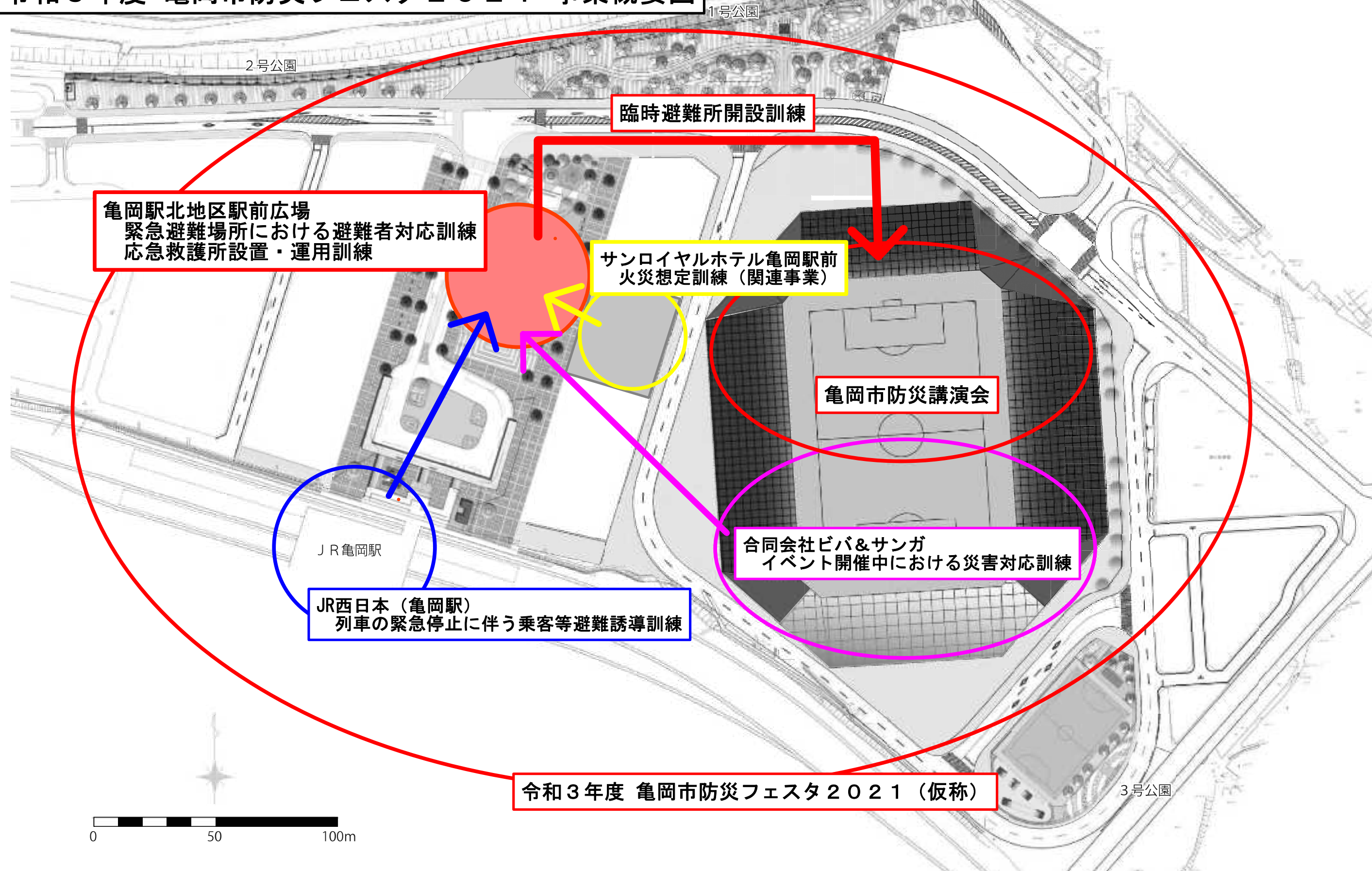
亀岡駅北側駅前広場で関係機関及び事業者により展示・体験コーナーを開設する。（予定）

7 進 行（案）

時刻	進 行	実施事項	内 容
9:00	第1部	総合避難訓練	コロナウイルス感染症に配慮した大規模避難所開設訓練
10:00	第2部	防災講演会	
11:00	第2部終了		
13:00	事業終了		

※防災展示・体験コーナーは、午前10時～午後1時

令和3年度 亀岡市防災フェスタ2021 事業概要図



令和3年度 亀岡市防災フェスタ2021 (仮称)

(仮称) セーフコミュニティかめおか 防災対策委員会の設置について

本市では、行政と地域住民との協働によるセーフコミュニティの取組を通じて、市民が安全で安心に暮らすことのできるまちづくりを推進することを目的として、市全体の取組方針を決定する「亀岡市セーフコミュニティ推進協議会」、具体的な安全対策を実施する6つの「対策委員会」、内部評価組織「サーベイランス委員会」を設置しています。

対策委員会については、これまで「スポーツ」「防犯」「交通安全」「自殺対策」「乳幼児」「高齢者」の分野で構成されていましたが、今回新たに「防災」分野を追加することとしています。つきましては同日開催予定でありました令和2年度第2回亀岡市セーフコミュニティ推進協議会で配布されている資料（別紙）を共有させていただきます。

なお、当対策委員会はセーフコミュニティ推進協議会で承認された後、来年度（4月）から活動を開始する予定です。

1 セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ（SC）とは、WHO（世界保健機構）が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、体系だった方法によって、地域社会全体が協働で安全安心に取り組んでいるコミュニティのことで、亀岡市は日本で初めてSCの認証を取得しています。

2 セーフコミュニティ推進協議会とは

行政と地域住民との協働によるセーフコミュニティの取組を通じて、市民が安全で安心に暮らすことのできるまちづくりを推進することを目的に平成18年に設置されました。

3 6つの対策委員会に新たに「防災」を追加する背景

これまでの体制に新たに「防災」の分野を追加する背景には市民の防災に対する関心が高いこと、土砂災害・大雨の頻度が増加傾向にあること、またそれにより亀岡市において災害による被害が多数出ていることや、災害時に避難する人の割合が少ないことがあります。

4 防災対策委員について

防災対策委員（案）については下記のとおりです。

（1）住民組織等

自治会、自主防災会、亀岡市消防団、亀岡市社会福祉協議会、亀岡市民生委員児童委員協議会、NPO 法人亀岡子育てネットワーク、亀岡国際交流協会（かめおか多文化共生センター）

（2）行政機関

京都府南丹広域振興局総務防災課、亀岡消防署予防課、亀岡警察署警備課、亀岡市立小学校（代表）、亀岡市立中学校（代表）、亀岡市文化国際課、亀岡市地域福祉課、亀岡市桂川・道路整備課、亀岡市学校教育課、亀岡市自治防災課

仮称) セーフコミュニティかめおか 防災対策委員会の新規設置について

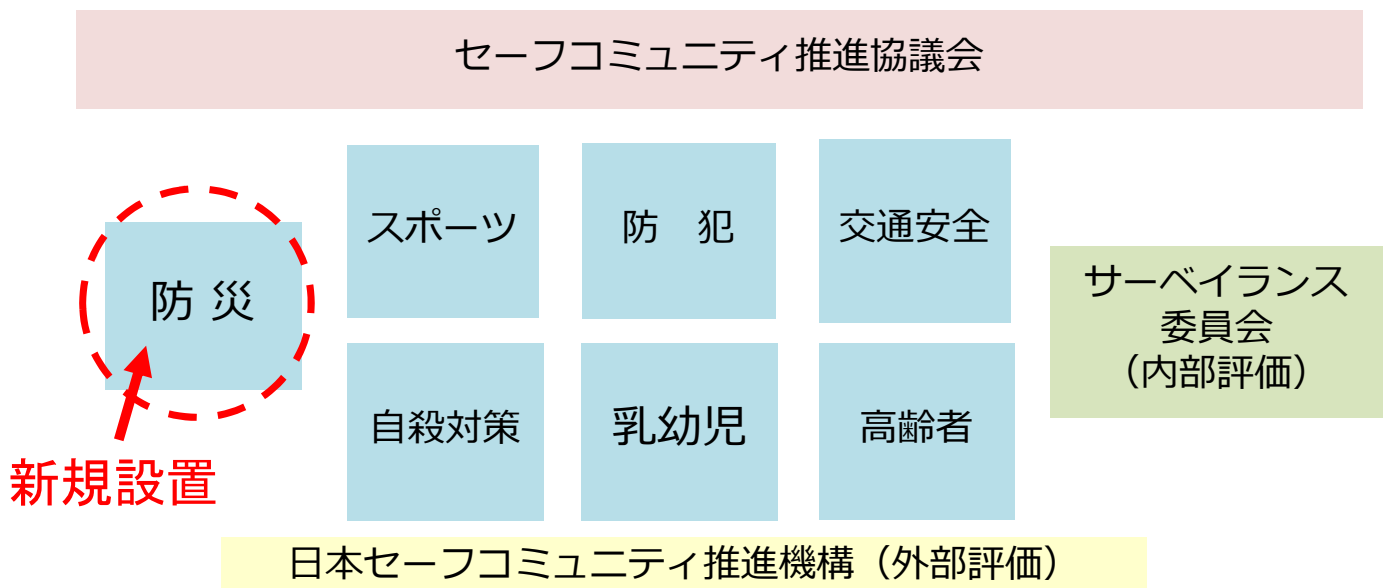
事務局 亀岡市自治防災課

1

セーフコミュニティの推進体制

本市のセーフコミュニティ活動は、市全体の取組方針を決定する「セーフコミュニティ推進協議会」、具体的な安全対策を実施する6つの「対策委員会」、各対策委員会の取組についての評価や分析を行う内部評価組織「サーベイランス委員会」、以上の組織で構成されています。

今回は、この中の対策委員会に新たに「**防災**」分野を追加することとなります。



2

対策委員会設置の目的と役割

- (1)セーフコミュニティの取り組みとして新たに「防災」を加えることでより市民に浸透する活動を進め、更なる安全・安心なまちづくりを推進するとともに市民の体感治安向上を図ります。
- (2)様々な立場の人が市(地域)の課題解決に向けて協働に取り組むことで、自助・共助による市民の防災力向上を推進します。
- (3)SDGsの目標「住み続けられるまちづくり」に向けて、コミュニティに根ざした防災・減災対策を推進します。



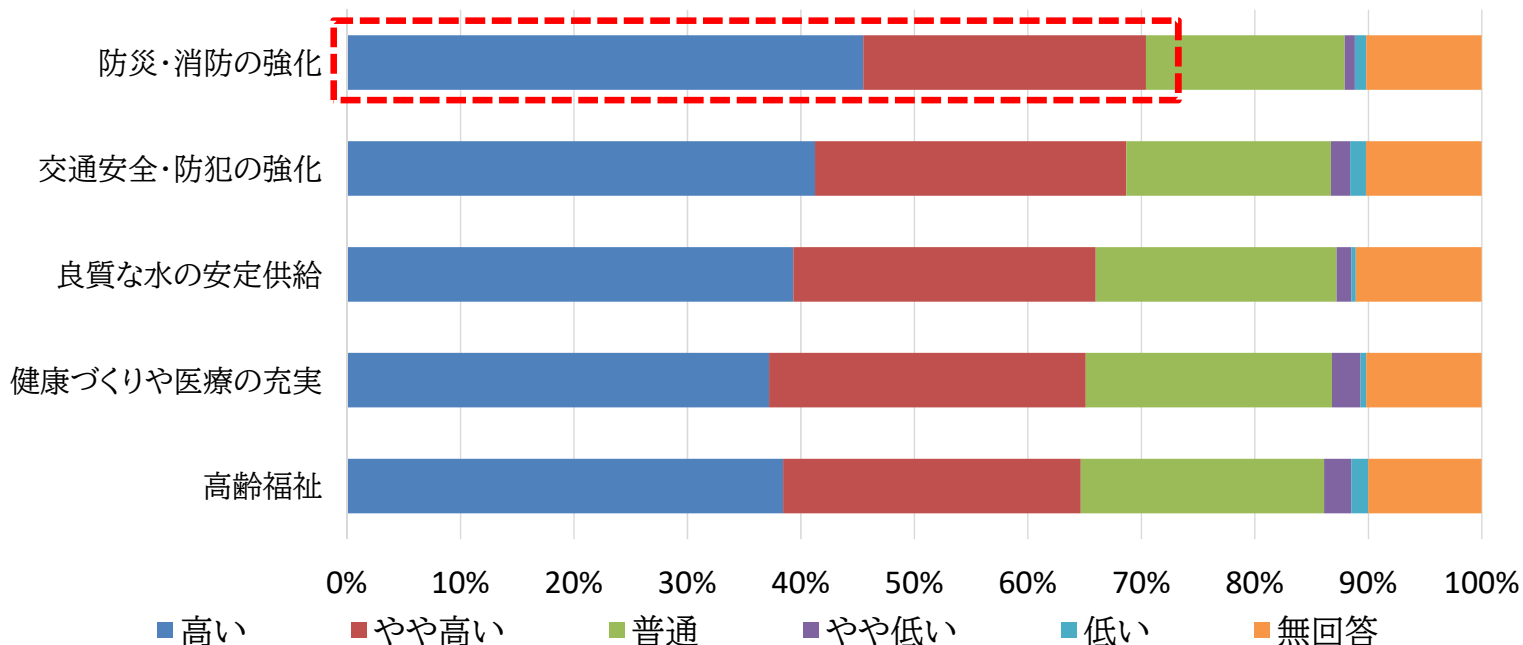
3

対策委員会設置の背景①

「防災対策は重要と考える市民が多い」

令和元年度に実施された市民アンケートによると、市のまちづくりにおいて「防災・消防の強化」が重要であると感じている市民が多く、**全42項目中で1番高い**割合を示しています。(約70%)

市民が感じるまちづくりに対する重要度の割合(上位5項目)

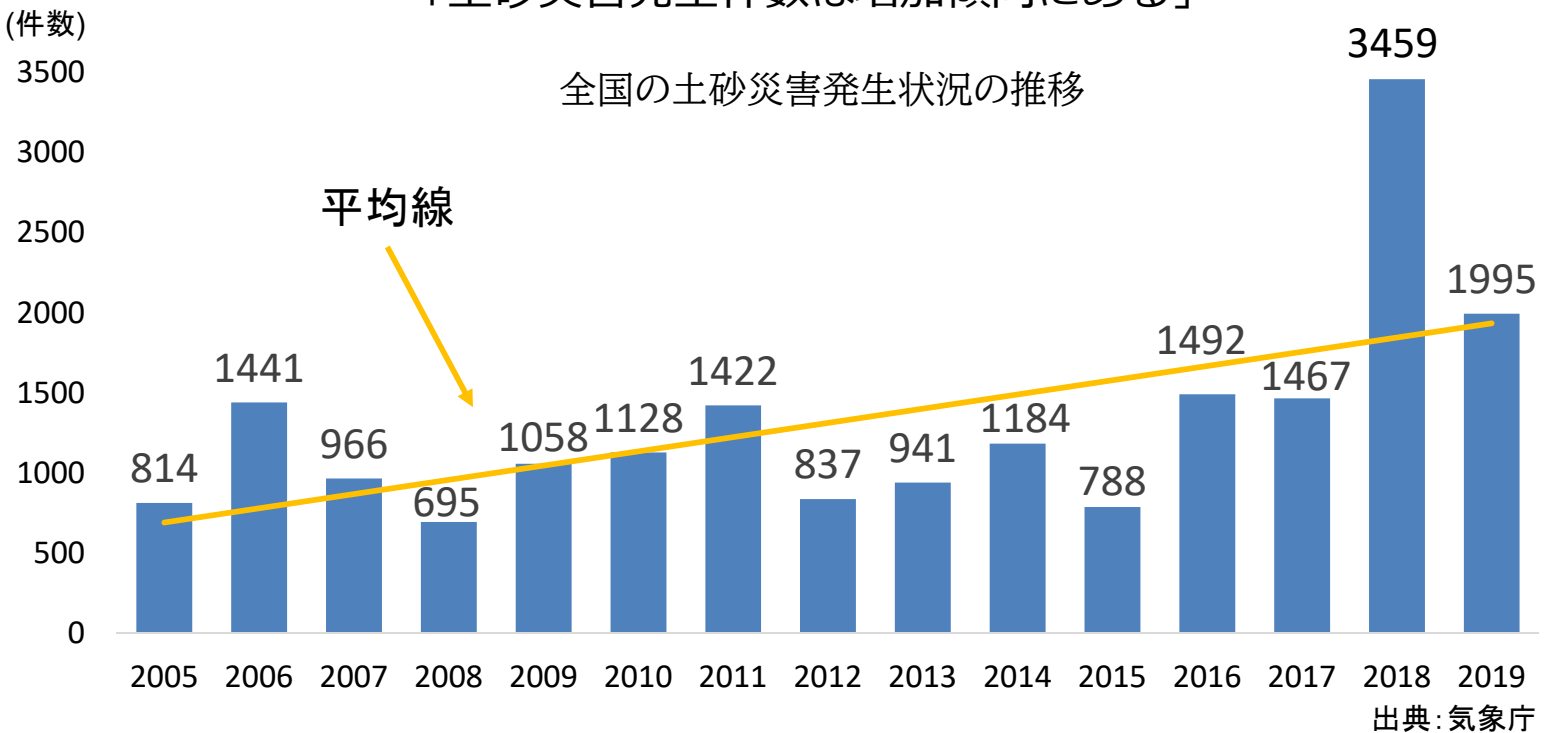


4

対策委員会設置の背景②

「土砂災害発生件数は増加傾向にある」

全国の土砂災害発生状況の推移



亀岡市は山間部が多くあり、市内に**729箇所**の**土砂災害警戒区域**が指定されています。近年も、大雨の際には土砂崩れが市内各地で発生しています。

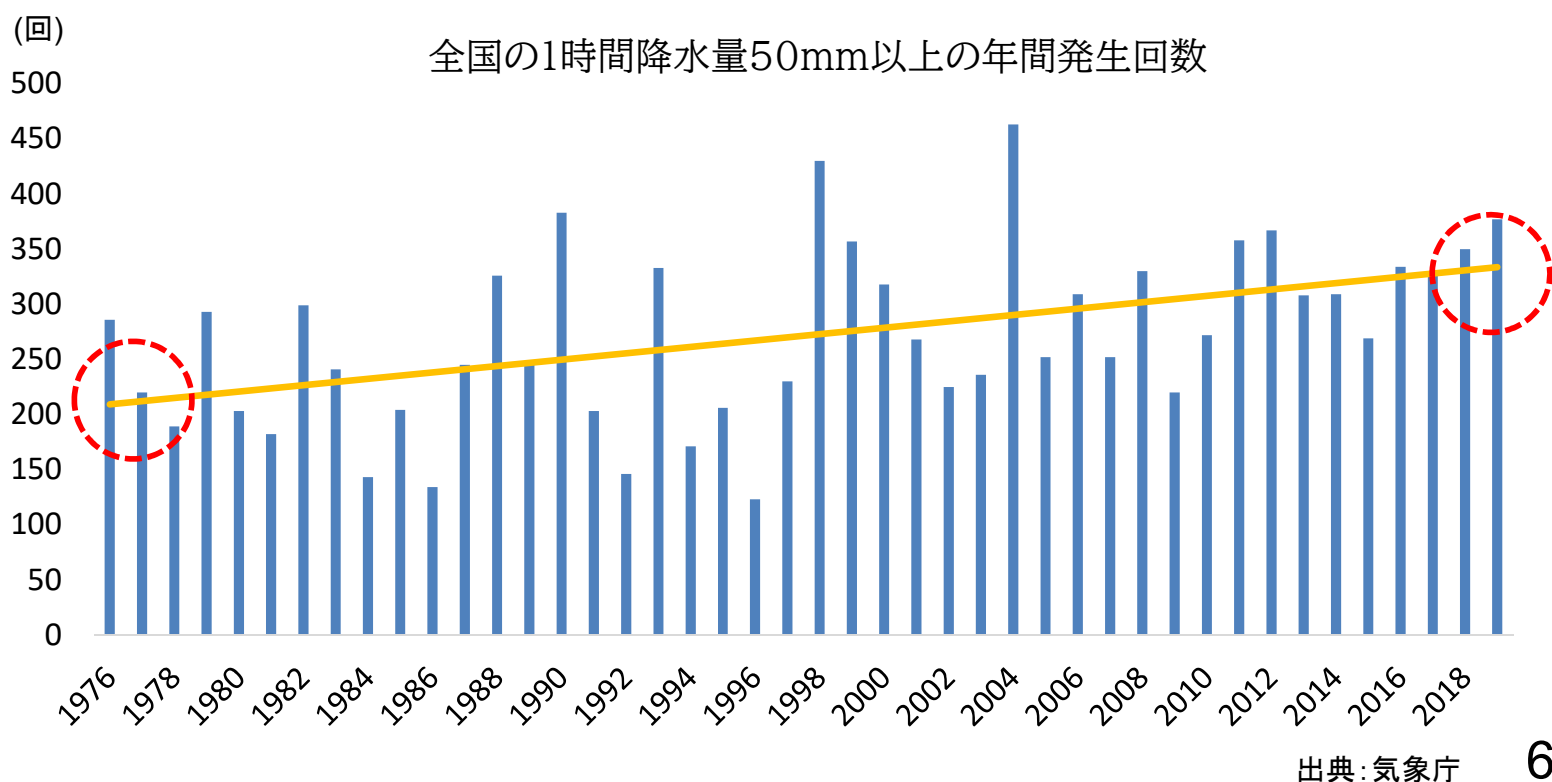
5

対策委員会設置の背景③

「大雨の頻度が増加傾向にある」

下のグラフは、1時間の降水量が50mm以上を記録した回数を各年ごとに集計したものです。約40年前と比較すると、その回数は約1.4倍となっています。

全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数



6

対策委員会設置の背景④

「近年、亀岡市において災害による被害が多数出ている」

本市では、近年災害による被害が連続して発生しており、被害の程度や規模も大きくなっています。特に平成30年(2018年)には、年間を通して、地震・台風・豪雨により市民生活に大きな影響を及ぼす被害が発生しました。

年度	2014			2016	2017	2018					2020
災害名	台風11号	8月16日大雨	台風19号	大雪	台風21号	大阪北部地震	7月豪雨	台風20号	台風21号	大雨	7月豪雨
住宅損壊	8	2	1	1	47	32	8	1	157	13	4
住宅浸水被害	20	21					38	50	1	37	6
被害発生理由	風・雨	雨	風	雪	風	地震	雨	風・雨	風	雨	雨

対策委員会設置の背景⑤

「災害時に避難する人の割合が少ない」

大雨や台風により避難勧告や指示などが発令された際、実際に避難する人の割合は全国平均で**約3～5%**という統計があります。(株式会社ウェザーニューズによるアンケート調査)

本市においても、平成30年7月豪雨では、市内全町に避難所を開設しましたが、避難者は合計392人で、これは人口比でみると、約0.44%と決して高い割合であるとは言えません。

居住地の状況により、必ずしも避難所へ行くことが得策であるとは一概に言えませんが、被害の危険性が高い地域においては、命を守る手段として積極的に避難していただくよう働きかけが必要となります。



対策委員会設置の背景

設置の背景①～⑤

- ・防災は重要と考える市民が多い
- ・土砂災害発生件数と大雨の頻度が増加傾向にある
- ・近年市内において災害による被害が増加している
- ・災害時に避難する人の割合が低い



市民が不安なく、安全・安心に暮らせるよう、市民自らが取り組むことができる「防災・減災事業」(ソフト事業)を展開する

⇒様々な立場にある人が協働により課題解決に取り組む
セーフコミュニティ(防災対策委員会)の設置が必要

9

対策委員 (案)

区分	団体名
住民組織等	自治会
	自主防災会
	亀岡市消防団
	亀岡市社会福祉協議会
	亀岡市民生委員児童委員協議会
	NPO法人亀岡子育てネットワーク
	亀岡国際交流協会 (かめおか多文化共生センター)
行政機関	京都府南丹広域振興局 総務防災課
	亀岡消防署予防課
	亀岡警察署警備課
	亀岡市立小学校 代表
	亀岡市立中学校 代表
	文化国際課
	地域福祉課
	桂川・道路整備課
	学校教育課
	自治防災課

対策委員会を構成する委員は一覧のとおりです。地域防災の中心的な活動をしていただいている自治会や自主防災会をはじめ、福祉・高齢者・子どもに関わる視点からも御意見をいただける団体に参画いただきたいと考えています。その他、行政分野からは、人命に関わる緊急的な対応をいただいている警察署や消防署をはじめ、ソフト面・ハード面に関わる部署、また近年のインバウンドの増加を踏まえる中で国際交流に関する部署を入れています。

10

他市の取り組み事例（１） 大阪府松原市

大阪府の松原市では、防災訓練について次のような課題がありました。

①訓練の参加者が固定化している。②若い人の参加者が毎年少ない。



対策委員会で取り組みの内容を検討

【取り組み内容】

学校と連携し、日曜参観の日に学校で行っている避難訓練と地域の防災訓練を合同で実施されました。

参観日ということで、若い人や子どもの参加も多く、効果的な訓練が実施できたということです。（年間に3校ずつ実施されています。）



11

他市の取り組み事例（２） 大阪府松原市

阪神淡路大震災や東日本大震災を教訓に、高齢者等災害弱者の逃げ遅れや効率的な安否確認を行うことを目的に対策委員会で検討を重ね実施されました。

《両隣声かけ運動》

避難する際に、自宅の両隣にも「無事ですか？一緒に避難しませんか？」などの声をかける運動です。
どなたでも心がけ一つでできる共助の取り組みです。

《タオル運動》

「この家には救助を必要とする者はいない」ということを示すために、玄関や門扉など外から一目でわかる場所にタオルをくくりつける運動です。救助活動を効率的に進める取り組みです。



12

今後について

今回の推進協議会(書面会議)で確認いただいた後、令和3年4月から対策委員会の活動を始めていきたいと考えています。

対策委員会の設置以降、具体的な取り組みまでの流れは次のとおりです。

- ①研修会やワークショップを通して、セーフコミュニティ活動に関する知識や認識の共有
- ↓
- ②災害に係る各種データ分析
- ↓
- ③対策委員会で取り組む課題の抽出
- ↓
- ④課題解決に向けた取り組み、目標、評価項目の設定
- ↓
- ⑤具体的な取り組みの実施

内容を確認いただきありがとうございました。

対策委員会の設置に関しての御意見につきまして、別紙の「意見確認書」に記載をお願い致します。

令和2年度 第2回 亀岡市防災会議

(説明用資料)

次 第

◆議 事

- ・ 亀岡市地域防災計画の修正について

◆情報共有・報告事項

- ・ 令和2年度の災害状況について
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえた避難所開設訓練実施結果について
- ・ 災害協定の締結状況について
- ・ 令和3年度亀岡市防災フェスタ2021（仮称）
- ・ セーフコミュニティかめおか防災対策委員会の設置について

【議 事】

亀岡市地域防災計画の修正について

資料1

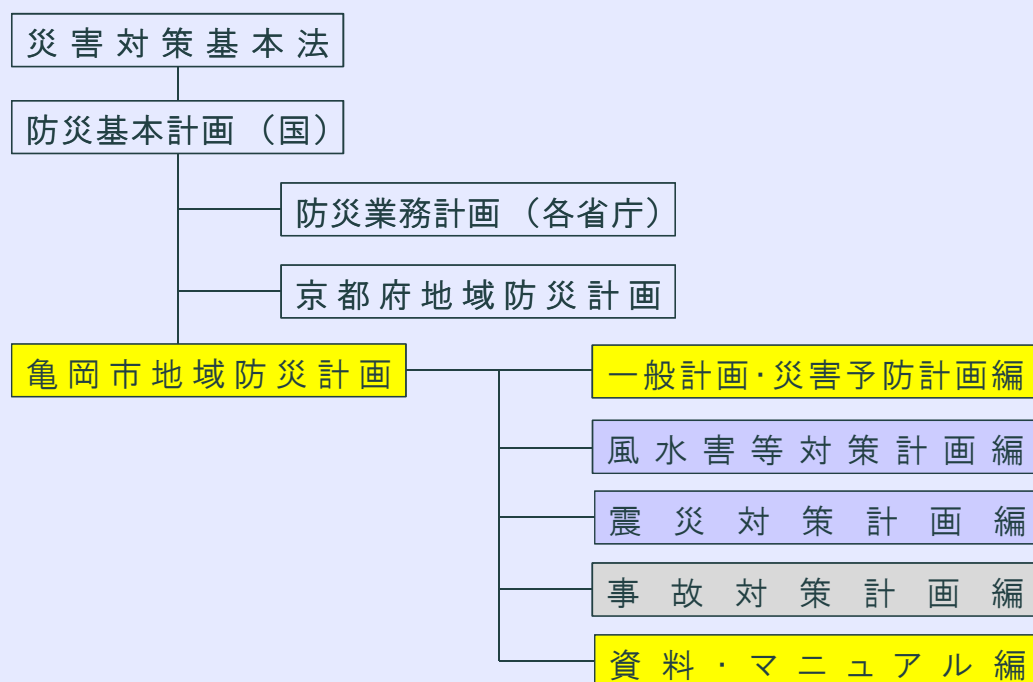
◆地域防災計画とは

災害対策基本法第42条の規定により、市域に係る防災対策に関して亀岡市防災会議が定める計画

◆目 的

防災活動の総合的な推進等を図り、市民の生命・財産等を災害から保護し、被害を軽減して郷土の保全と市民福祉の確保を期することを目的とする

◆体系と構成



◆修正の経緯

市町村地域防災計画は、災害対策基本法第42条第1項の規定により、毎年検討を加え、必要があると認めるときはこれを修正しなければならないとされており、毎年、検討・修正を加え現在に至っている。

今年度は「一般計画・災害予防計画編」及び「資料・マニュアル編」を見直し、関係する箇所について修正を行う。

◆ 主な修正項目

【一般計画・災害予防計画編】

➤ 第2編第2章第18節「受援計画」の見直し

○ 受援計画の見直し

台風や集中豪雨等による大規模な水害や土砂災害に備え、現運用体制より詳細な運用が可能となるよう見直しました。

◆ 主な修正項目

【資料・マニュアル編】

➤ 日吉ダム洪水警戒体制に係る連絡様式の修正
日吉ダム洪水警戒体制に係る連絡様式の改定に伴い、様式を修正。

➤ 「避難所開設・運営マニュアル」の見直し
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から既存の「避難所開設・運営マニュアル」を改訂。

◆ 主な修正項目

【資料・マニュアル編】

➤ 土砂災害警戒（特別警戒）区域の指定に伴う修正

○ 下矢田町

○ 千歳町

○ 西別院町

○ 畑野町

➤ 新たに解除された土砂災害警戒（特別）区域の概要

○ 下矢田町（特別警戒区域の一部解除）

区域の名称	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類
下矢田町A(に 1049)	急傾斜地の崩壊

○ 千歳町（警戒区域の一部解除、特別警戒区域の解除）

区域の名称	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類
千歳町7(に 054)	土石流
千歳町8(に 053)	

➤ 新たに指定された土砂災害警戒（特別警戒）区域の概要

○西別院町

区域の名称	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類
西別院町BJ(に 1017-4)	急傾斜地の崩壊
西別院町BK(に 2041-4)	
西別院町BL(に 2037-8)	
西別院町BM(に 2035-5)	
西別院町BN(に 2035-4)	

➤ 新たに指定された土砂災害警戒（特別警戒）区域の概要

○西別院町

区域の名称	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類
西別院町BO(に 2033-6)	急傾斜地の崩壊
西別院町BP(に 2169-10)	
西別院町BQ(に 2169-10)	
西別院町BR(に 2042-3)	

➤ 新たに指定された土砂災害警戒（特別警戒）区域の概要

○畑野町

区域の名称	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類
畑野町43(新に 1006-3)	土石流
畑野町(に 10)	地すべり

◆ 主な修正項目

【各計画共通】

➤ 第2編第1章第3節又は第4節

「応援の要請・受入れ」の追加及び整理

【新たに締結した協定等】

- ・緊急時における感染症防止対策に係るマスクの優先供給に関する協定
- ・災害に係る情報発信等に関する協定
- ・災害時における地図製品等の供給等に関する協定
- ・災害時におけるクロレラの調達に関する協定
- ・災害等における物資の供給に関する協定

◆ 今後の予定

3月上旬	京都府へ報告
3月下旬	印刷・製本
4月上旬	配布

◆ その他

- ・ 修正案の作成にあたっては、各関係機関へ照会し、点検、修正いただいています。
- ・ 他編についても、次年度以降、必要に応じて順次修正を行います。

【情報共有・報告事項1】

令和2年度の災害状況について

■ 令和2年度の災害状況について(令和2年7月豪雨)

【概要】

○7月3日から7月31日にかけて、日本付近に停滞した前線の影響で、暖かく湿った空気が継続して流れ込み、九州地方をはじめ、西日本から東北地方の広い範囲で大雨となり、人的被害や物的被害が発生した。

○死者84名、行方不明者2名、住家の被害9,628棟
住家浸水6,971棟の甚大な被害

○降水量について、多数の地点で観測
史上一位を更新
(長野県木曽郡王滝村で
総降水量2,135.5ミリを記録)

○この大雨により、球磨川や筑後川といった
大河川の氾濫や土砂災害等が発生した。

熊本県八代市
(国土地理院より引用)



令和2年7月豪雨の気象警報等の状況及び市の対応について

気象 警報の 種類	気象警報等 発表・解除	災害警戒本部等 設置・閉鎖状況
大雨	7月8日 1:45 大雨警報(土砂災害)発表 2:55 洪水注意報 発表 4:24 洪水警報 発表 5:15 土砂災害警戒情報 発表 (東別院町・西別院町) 9:35 土砂災害警戒情報 解除 13:06 洪水警報 解除 16:11 大雨警報 解除	7月8日 2:15 災害警戒本部設置(1号配備) 5:45 災害警戒本部 2号配備に移行 各町連絡要員 配備 (東別院町・西別院町) 7:00 各町連絡要員 配備(全地域) 10:30 各町連絡要員 解散 16:00 災害警戒本部 1号配備に縮小 17:00 災害警戒本部 閉鎖
	7月9日 6:58 大雨警報 発表 15:10 大雨警報 解除	7月9日 7:30 災害警戒本部設置(1号配備) 15:10 災害警戒本部 閉鎖
	7月10日 19:54 大雨警報 発表	7月10日 19:54 災害警戒本部設置(1号配備)
	7月11日 10:37 大雨警報 解除	7月11日 10:37 災害警戒本部 閉鎖

令和2年7月豪雨の被害状況(亀岡市)

被害状況		
住家被害 10棟	非住家 7棟	その他
半壊:1棟 西別院町	一部損壊:2棟 東別院町2棟	曾我部町南条 地内 倒木・土砂流出
準半壊:1棟 篠町	床下浸水:5棟 西町3棟、曾我部町1棟 三宅町1棟	七谷川左岸河原林 地内 路肩崩落
一部損壊:2棟 西別院町1棟 篠町1棟		
床下浸水:6棟 西町1棟、荒塚町1棟 曾我部町4棟		

日吉ダム情報伝達装置の運用状況

	防災操作 開始日時	ゲート放流時点 の放流量(t/s)	最大放流量(t/s)
1	6月13日 16:00	38	150
2	6月19日 5:30	41	88.3
3	7月4日 6:00	63	100

日吉ダム情報伝達装置による通報状況

	防災操作 開始日時	ゲート放流時点の 放流量(t/s)	最大放流量(t/s)
4	7月6日 11:10	36	150
5	7月14日 8:30	99	150
6	7月25日 8:10	60.4	130

令和2年 気象警報発表状況

※()内は前年の発表回数

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
暴風										(1)			(1)
大雪	(1)												(1)
大雨							3	(2)					3 (2)
洪水							1	(1)					1 (1)
計	(1)						4	(3)		(1)			4 (5)

令和2年度 地震観測状況

月日	時分	計測 震度	地震の 規 模 (M)	震央地名	震度 観測点
R2 4/18	17:27	1	M6.9	小笠原諸島 西方沖	安町
5/29	1:06	1	M1.9	京都府南部	
7/8	14:55	1	M2.8	兵庫県南東部	
8/26	20:24	1	M3.2	京都府南部	

月日	時分	計測 震度	地震の 規 模 (M)	震央地名	震度 観測点
9/4	9:10	1	M5.0	福井県嶺北	安町
10/26	6:35	1	M4.0	和歌山県北部	
12/17	3:43	1	M3.3	京都府南部	
R3 1/3	1:05	1	M2.9	兵庫県南東部	
2/13	23:07	1	M7.1	福島県沖	

■令和2年度の国内における災害状況について(台風第10号)

【概要】

○9月5日から9月7日にかけて、大型で非常に強い勢力で南西諸島と九州に接近した後、朝鮮半島に上陸し9月8日に温帯低気圧に変わった。当台風は観測史上1位の値を超える猛烈な強い風を観測した。

○死者2名、行方不明者4名、住家の被害857棟、住家浸水37棟の甚大な被害

○風について、長崎県で観測史上一位を更新
(長崎県野母崎町で 最大風速44.2m/s 最大瞬間風速59.4m/s記録)

○雨について、宮崎県神門で9月4日から9月7日までの総降水量が599.0ミリになり、宮崎県の4地点で25時間降雨量が400ミリを超えるなど大雨となった。

■本市における防災対策・課題について

【課題】

大型の台風などの大規模な自然災害が発生し、住民が避難する際に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を念頭に置いた避難所開設・運営が浸透していない。

【対応】

令和2年7月に新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施しており、今後も市主導の訓練を定期的の実施するとともに、各地域における同様の取組についても積極的に支援してまいります。

【課題】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な避難所運営に必要な資機材で不足しているものがある。

【対応】

現在、国の交付金を活用し、避難所における対策物資・資機材等の整備を進めており、今後も必要な物資について、今後も引き続き配備・調達支援を行ってまいります。

【情報共有・報告事項2】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえた避難所開設訓練の実施結果について

【目的】

新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた避難所開設・運営の体制を確立するため、自治会・自主防災会・民生委員等の防災関係者の協力をもとに各町要員（市職員）と連携しながら、避難所開設・運営訓練を実施し、今後の避難所の円滑な運営と感染症拡大防止を図る。

日 時:令和2年7月27日(月)

10時00分から11時30分まで(1部)

13時00分から14時30分まで(2部)

15時00分から16時30分まで(3部)

場 所:ガレリアかめおか 2階大広間

参加者:自治会・自主防災会・民生委員
京都府職員、市職員等

参加人数:152人

実施内容

①避難所の設営

受付の設置、毛布によるゾーニングの設定、段ボールベッド・パーテーション・プライベートルーム等の資機材の設定等、感染症対策を考慮した避難所の設営及び運営について確認しました。

また、業者にも訓練に参加していただき、段ボールベッド・パーテーション・プライベートルームの設置方法及び収納方法について、説明をいただきました。

②避難者の受入要領

避難者の検温、避難者名簿・健康観察表の記入、避難者の特徴や状況に応じた誘導要領について確認しました。

③健康観察及び有症状者への対応

定期的な避難者の検温・問診要領を確認し、健康観察の結果、発熱症状がある避難者(有症状者)を隔離スペースへ誘導し、有症状者の情報を保健師へ引き継ぐ要領を確認するとともに、有症状者がいた居住スペースの消毒・清掃の要領を確認しました。



各地域での訓練実施状況

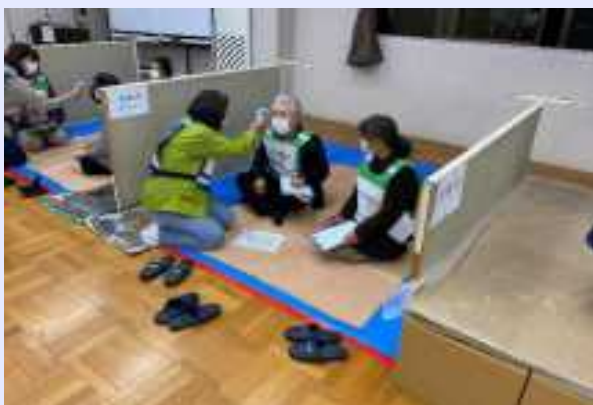
新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた避難所開設訓練を実施した結果、各地域においても同訓練を実施されました。

○令和2年9月27日(日) 9時30分から12時00分
馬路町自治会・自主防災会 参加人数:26人

○令和2年10月11日(日) 10時00分から11時30分
篠町自治会・自主防災会 参加人数:56人

○令和2年11月5日(木) 19時30分から21時00分
川東民生委員児童委員協議会 参加人数:29人

○令和2年11月15日(日) 9時00分から10時30分
東つつじヶ丘自治会・自主防災会 参加人数:22人



【情報共有・報告事項3】

災害協定の締結状況について

資料2

【令和2年7月】

「緊急時における感染症防止対策に係るマスクの優先供給に関する協定」

株式会社山口精機製作所

【令和2年7月】

「災害に係る情報発信等に関する協定」

ヤフー株式会社

【令和2年12月】

「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」

株式会社ゼンリン関西支社

【令和2年12月】

「災害時におけるクロレラの調達に関する協定」
サン・クロレラジャパン株式会社

【令和3年1月】

「災害等における物資の供給に関する協定」
コーナン商事株式会社

【情報共有・報告事項4】

令和3年度亀岡市防災フェスタ2021
(仮称)

資料3

【経 緯】

本来、令和3年度は、隔年で実施しています「亀岡市総合防災訓練」を実施する予定でありましたが、次のことから実施計画を変更したものです。

①新型コロナウイルス感染症の影響により、オリンピック等のイベントが延期・中止になったことや、京都府総合防災訓練や消防操法大会が延期になったことを受け、本市においても今年度実施予定であった「亀岡市防災講演会」を中止しました。

しかし、依然として「住民避難」が重要な行政課題であるとともに、「コロナ禍における住民避難の在り方」などに関して市民への普及啓発を図ることを目的に、令和3年度に「亀岡市防災講演会」を実施することとします。

②サンガスタジアムを中心とした亀岡駅北側駅前広場一帯で、自然災害を想定した大規模な避難訓練、避難所開設訓練などを実施し、訓練を通じて市民へ防災・減災意識の啓発を図ります。

また、災害対応訓練を通じて各機関における組織体制及び連携の確認、災害対応能力の向上を図るとともに、サンガスタジアムを避難所とした避難所開設・運営訓練を実施し、コロナ禍における避難の在り方や避難所における感染症対策に関する普及啓発を図ります。

【概要】(予定)

- ◆ 日 時 令和3年9月～10月(調整中)
午前9時から午後1時まで
- ◆ 場 所 サンガスタジアム
亀岡駅北側駅前広場周辺一帯
- ◆ 主 催 亀岡市防災会議
- ◆ 内 容 ①総合避難訓練
②防災講演会
③サンガスタジアム施設見学会
④高層建物火災想定訓練(サンロイヤル亀岡駅前)

①総合避難訓練

サンガスタジアム及びJR亀岡駅北側において、大規模災害発生を想定した避難訓練を実施。

また、臨時避難所としてサンガスタジアムを活用した想定で、感染症拡大防止対策に留意した避難所開設・運営訓練を実施し、各防災関係者及び施設管理者の災害対応力の向上を図る。

②防災講演会

現在、災害発生時において全国的に課題となっている「住民避難」を主題とした防災講演会をサンガスタジアム内において開催し、避難行動タイムラインに基づく避難計画の策定や「避難スイッチ」の考え方について普及啓発を図る。

また、コロナ禍において市民の関心が高い「感染症に配慮した避難の在り方」や「避難所における感染症予防」に関する内容も追加して実施する予定です。

③その他関連事業

・サンガスタジアム施設見学会

サンガスタジアムにおける防災対策(耐震構造や備蓄倉庫など)に関する施設見学及び原則立ち入ることのできない施設内部の見学会を実施予定です。

・高層建物火災想定訓練

サンロイヤル亀岡駅前等、会場周辺の事業者、施設等に協力を要請し、火災想定訓練などの災害対応訓練の実施を検討しています。

・展示ブース

亀岡駅北側駅前広場で関係機関及び事業者により展示・体験コーナーを開設することを検討しています。

※内容については検討中であり、今後各関係機関との協議により変更することもあります。

【情報共有・報告事項5】

セーフコミュニティかめおか防災対策 委員会の設置について

資料4

1 セーフコミュニティ推進協議会とは

行政と地域住民との協働によるセーフコミュニティの取組を通じて、市民が安全で安心に暮らすことのできるまちづくりを推進することを目的に平成18年に設置されました。

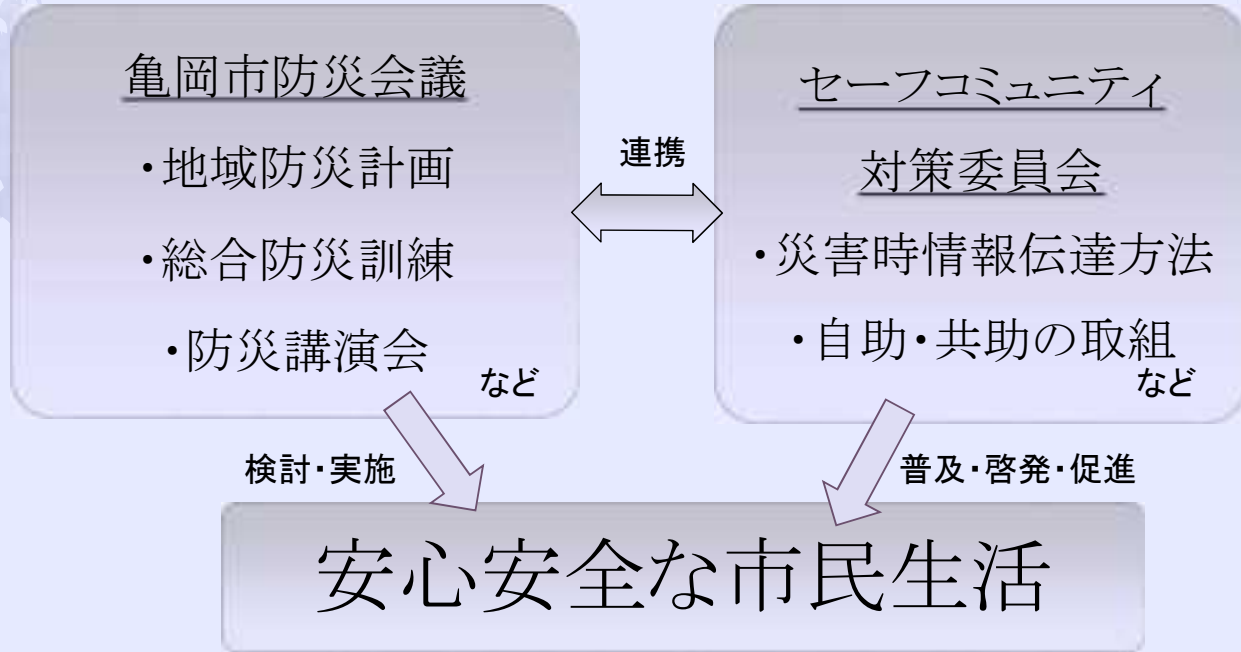
2 6つの対策委員会に新たに「防災」を追加する背景

これまでの体制に新たに「防災」の分野を追加する背景には市民の防災に対する関心が高いこと、土砂災害・大雨の頻度が増加傾向にあること、またそれにより亀岡市において災害による被害が多数出ていることや、災害時に避難する人の割合が少ないことがあります。

3 対策委員会の取組

防災会議は市の諮問機関として、市や関係機関等が防災減災に係る事業の実施・検討を行います。

一方、対策委員会では市民自らが不安なく安心安全に暮らせるよう取り組むことができる防災減災に係る検討を行います。



4 対策委員(案)

対策委員会では、セーフコミュニティの視点で多角的に防災対策に向き合うことから、多数の組織から委員を選定しています。

